

はじめに

栃木県保健環境センターは、保健衛生と環境保全分野の技術的な中核機関として、行政依頼検査を行うとともに、国や地方衛生・環境研究所などと連携・協力し、試験研究、技術的支援及び情報提供を行っております。

本年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、緊急事態宣言が繰り返され、職場には在宅勤務やWeb会議が浸透した年でありました。Webによる会議や学会でも、必要な情報はある程度得られますが、実地で「face to face」で討論、意見交換して得られる情報の量や質、人脈の重要性について改めて認識させられました。一日も早く感染が収束することを願っております。

当所は、流行当初から迅速かつ正確な検査の責務を担っており、県民への感染拡大を防ぐため、PCR検査やゲノム解析の実施及び発生状況の発信などに尽力してきました。今後も感染症などの発生動向を注視し、引き続き検査体制等の維持向上を図り、関係機関と連携し、県民の安全安心のために対応して参ります。

環境分野におきましては、豊かな環境を次世代に繋いでいくためにCO₂排出抑制の課題が課せられる中、具体的な行動が求められていますが、新型コロナウイルス感染症の流行で経済活動が制限され、その影響で大気汚染状況が一時的に改善したとの報告もありました。今後、この推移を見守るとともに、要因を分析し対策に活かしていく必要があります。

この度、関係各位の御協力の下、令和2(2020)年度の業務を実施し「栃木県保健環境センター年報第26号」としてとりまとめることができました。御高覧いただければ幸いです。

最後に、これからも県民の健康と安全な生活環境の確保を目指し、試験研究機関の責務を果たして参りますので、関係各位の一層の御指導、御支援をお願いいたします。

令和3(2021)年12月

栃木県保健環境センター
参事兼所長 加藤 治